

植物 ビジネス レター



フムウサキ (シソ科)
〈小紫〉

コミネス 長

2026年(令和8年) 11月

2021年(令和3年)

11月

〈テーマ〉

。 11月の行事と白河地方

。 季節の花々と植物

。 9-12会議(世界経済フォーラム)
— 6Aの経過 —

。 一口メモ

ボタニカル イジアン (botanical Asian)

齋藤 34.5

—— 6月の続き ——

今年 1月のダボス会議の主要議題 とした 食品の「調理、料理、加工品」について、日本国は、「日本料理」が「世界遺産」であることから、「加工品」ではなく「農産物」以外に、輸出を増えたいという意向を致し、そのかわり、日本国にも、諸外国からの輸入品が、そこへ見られる。

しかし、「緑茶」 「Green tea」 は、諸外国には、あき評判が良く、夏場などに 大量の在庫が、スーパーや、ドラッグストア、ディスカウントストア・「ダイソー」入りで、置いてありおこなう、見かけが。

例えば、「緑茶」の「効能」があるといわれ、自国(日本国内)で、調製して、ティーをアフィリエイト可能なように、需要は、伸びるという意向を致し、これは、「緑茶」に限らず、他の食品群にも、当てはまるのではないかと推察。

—— 終わり ——

令和8年(2026年)10月14日(水) <AM 5:18>

(室温: 20.5°C)

• <Thermometer (フィラメント)>

① 油シメ(油祝い)

11月15日(七五三)に、油シメ(油祝い)という。

この月、油をこぼすと、火に^{なり}染るといふ俗信があると見ると、

やはり火災を^{おぼ}免れたいという特別な^{きまり}祭りになっているのだろう。

<年中行事寛政：講談社>

<白河市史によろ>

② 酒の市

11月の酒の日に行われる。(一の酉、二の酉、三の酉)

今年の一の酉は、11月9日、二の酉は、11月21日です。

三の酉の日は、ありません。

祭礼には、^{くまざう}熊手市(“かまこま”、“とりこま”と縁起をかつく

商人に人気がある。)が出て、大熊手、おかめの囃子や入船などの

豪華な縁起物が売られます。

<現代冠婚葬祭事典：三省堂>

③ 鳥と日本人

日本には、古来から、鳥は、この世とあの世の便所であるという性格

を持つという考えがあった。日本の和服(男性、女性とも)は、

安形で、羽根(翼)を付けた鳥の形に似ている(例えば、^{はおり}羽織、

^{ふり}振袖、かみしなど)である。日本人は鳥を、よく観察して、その民族で

はなやかに考へてゐる。

<日本冒険：角川文庫>

<一部引用>

季節の花と植物

コマツナギ (マメ科)
(駒繫)

小峰城跡 近辺

本州～九州 原産

※ "根が強く張って、茎が丈夫

なことば、名の由来。"

(野草・雑草)



ミヤギハギ (マメ科)
(宮城野萩)

コミネス喜

本州・四国・九州 原産

ムクゲ (アオイ科)

Botanical Asian Garden

入口付近

北海道・本州・四国・九州・沖縄に

分布

インド・中国 原産

※ 白花の乾燥したものは、胃腸カタル。

腸出血 などに、煎、して用いる。



ムクゲ (アオイ科)

(八重咲)

サエビ

白河の関バス停付近広場

北海道・本州・四国・九州・沖縄に

分布

インド・中国 原産

シダ植物の群落 ^{ぐんらく}

白河の畔 脇の
小道



※ シダは、空気の汚れにも、比較的強く、強い日光下でも、

青々とした葉を見せてくれる。

<ポイントハンター：講談社>

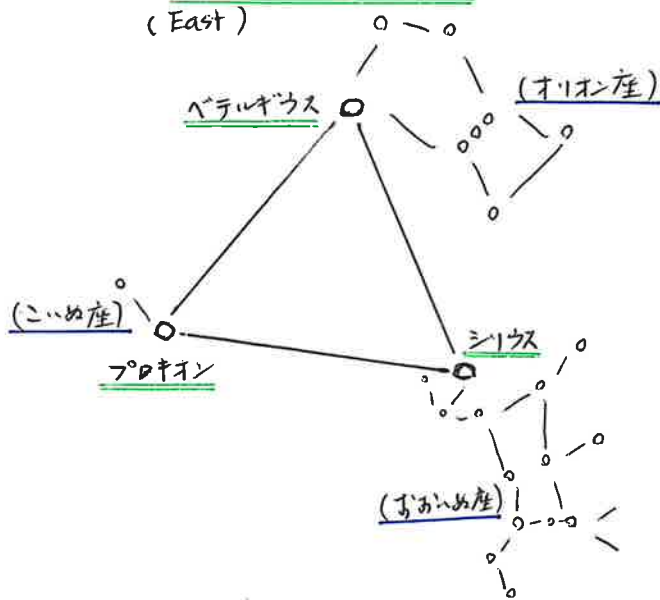


シダ植物の群落 ^{ぐんらく}

白河中金崎寺橋付近 ^{ましろのうへ}

<一〇×七>★ 東天(冬)の星図

(East)



← 冬の大きな三角形

< 星図の見方について >: 学研プラス >★ 竹の再生 (竹の子から竹へ)

白河市金崎町付近



発行所: 〒961-0083 福島県白河市金崎町156番地1

発行者: ボタニカル エイジアン (botanical Asian)
<屋号>

TEL 090-2604-2314

齋藤 邦生
<氏名>